

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

歳故か法華経等を読み始む

難解なれど心落ち付き

●宮古市 太田屋滋

甦れ雑草廃墟の緑地帯

八十路に鞭打ち懸命除草

●富谷市 佐藤英克

ひっそりと武蔵嵐山松のかげ

静かに立てり悲運の武将

●松戸市 秋元輝美

週六日残債抱え働ける

老いたる友の疲れた笑顔

●印西市 山田 明

時ならぬ秋雨雷鳴大あわて

自転車飛ばし布団取り込む

●平塚市 田中博由

ちちろ虫草場の陰で音色良く

鳴くのに我は高いびきかな

●福知山市 嶋尾 充

天は青女人高野の紅葉かな

俳 句

この鼓動夜空を焦がす大輪よ

●小山市 塚野 京

河童橋穂高連峰薄紅葉

●小山市 原田利江

小刻みに揺るる野菊や川の辺に

●本庄市 長谷川千鶴子

無花果の祖母の思い出甘煮かな

●草加市 長谷部禎子

躍り口こゑ近くしてちちろ鳴く

●戸田市 篠崎志津子

低く飛ぶ子育てツバメ共稼ぎ

●朝霞市 林 則雄

ホスピスの夜のとばりや秋灯り

●東京都大田区 小池弘一

シルバーの友や勤労感謝の日

●東京都練馬区 山口昭義

団欒の蠟燭点す野分かな

笹鳴きや秘めし心を覗かるる

●立川市 浅見 眞

城跡に佇てば一望大花野

●長岡市 近藤 博

大空を高高飛んで秋燕

●塩尻市 大家協治

鈴虫の鳴き止む間合闇深し

●塩尻市 奥原光夫

萩の花香る色あい江戸絞り

●塩尻市 小野正平

八ツの峰雲ひとひらに秋隣

●塩尻市 町田まさ子

薬箱整理なかばの過ぎる夏

●野洲市 若松能夫

山百合よ咲いて儂い岩の影

●綾部市 岩瀧憲一

秋の空洛西巡る大原野

●長岡京市 宮先一雄

家事仕事褒められ上手に乗せらるる